

## 雨乞い踊り

雨乞い踊りに関する過去の記録を読むと、踊りに参加する人は正装したり、身を清めるなどして、神聖な気持ちで臨んでいたことが分かります。真剣さが伝わります。愛媛県内子町と香川県満濃町の例をご紹介します。

### ■宇都宮神社の千人踊 (愛媛県内子町)

文久元年 (1861) は、5月9日から毎日天気が続き、組々では雨乞いの祈祷などを度々行いましたが、効果がないため、7月20日に大瀬、村前、五百木、城廻の四か村が宇都宮神社で千人踊を行うことになりました。「五百木村城廻村永代記録」によると、組々への事前の連絡には、「午前二時揃いで、庄屋は袴をつけ、組頭は袴をはき、五人組は脇差しをさして拍子木を持参し、百姓は蓑笠を持参すること」など詳細な注意書きが記されています。千人踊に参加した総人数は、四か村でおよそ1,340人、たしかに千人を超えた雨乞い踊りでした。千人踊のおかげでしょうか、7月21日、22日によい潤いがあり、お礼踊りを組々で考え、踊ったり、お籠もりなどをしたと記録されています。<参考資料：内子町誌編纂委員会編「新編内子町誌」1995年など>



宇都宮神社



千人踊が奉納された宇都宮神社境内



(地理院地図に加筆)

### ■加茂神社の綾子踊 (香川県まんのう町)

昭和14年 (1939) は大干ばつのため、8月3日に香川県が各市町村に対して雨乞い祈願を執行するよう通達しました。仲南町 (現まんのう町) 佐文の加茂神社と竜王山では8月17日に綾子踊が奉納されました。当時14才であった少年の日記には次のように記されています。「今日は総踊りの日なり、生れて始めて紋付の着物に袴を着用せり、紙緒の草履も父が念入りに作ってくれたり。午前八時頃王尾村長様宅に集合、神事場にて一踊り、加茂神社にて行列を整え龍王山に向かい山を登る。神前にて一踊り雨を祈り力一杯踊る。帰りて加茂神社にて二踊りなすも見物人多く盛観なり」9月に入り降雨があり、9月11日に加茂神社でお礼踊りが奉納されました。<参考資料：綾子踊の里佐文誌編集委員会編「綾子踊の里佐文誌」1980年及び仲南町誌編集委員会編「仲南町誌」1982年>



加茂神社



加茂神社の綾子踊碑



(地理院地図に加筆)